

第402号

2014年

10月29日

どぶいたニュース

全損保日勤外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

第71回全損保定期全国大会開催される

9月19日、東京都千代田区にある中央大学駿河台記念館で、全損保第71回定期全国大会が開催されました。支部執行部メンバー始め、在京の組合員もほぼ全員がオブザーブ参加し、積極的に討論に加わりました。不透明性を増す世界経済・効率のみを追い続ける損保情勢・日新支部の問題・平和と民主主義の危機等、多岐にわたりました。

そしてその討論を経て、やはり今後もこれまでどおり、この労働組合をいかして、働くものの真の拠り所として、働くものの立場から、『生活と雇用、労働条件を守る』という原点にたちかえって運動をすすめていく決意のもと、2015年度運動方針について、全会一致で可決承認されました。

全国大会のスローガンならびに秋のたたかいを意気高くとりくむ決議を掲載いたします。

第71回全損保定期全国大会スローガン

<メインスローガン>

働くものの声と思いを大切に、すべての運動をすすめよう

<サブスローガン>

一、人間らしさと一人ひとりの思いを大切に運動と組織を前進させよう

一、統一闘争に結集し、職場からの要求と課題を掲げ、秋のたたかいから2015年春闘を構築していこう

一、職場の「歪み」を解消し、長時間過密労働の実態改善、人間らしく働ける職場を実現しよう

一、損保産業の社会的役割を守り、真に「健全な」産業の発展、展望を持って働ける仕事の実現にむけ、首長と運動を広げよう

一、いのちと健康、生活と権利、平和と民主主義を守るため、学習と論議をすすめ、広範な共闘の力で、憲法改悪をやめさせよう

以上

秋のたたかいを意気高くとりくむ決議

世界経済は、いまだ多くの課題を抱え先行きは不透明となっています。日本では、円安、株高の進行が、大企業・製造業の業績を回復させましたが、その「実り」は中小企業や地域経済には波及していません。「追い風」と言われた春闘においても、国民・労働者の期待には程遠い結果となりました。加えて、消費税増税や物価上昇が国民の暮らしにも影響を与えています。一方財界は、国際競争力の強化と先行き不安を強調し、資本の溜め込みと大規模なリストラ「合理化」を押しすすめており、国民・労働者や、地域経済に重大な犠牲と痛みを押しつけています。

安倍政権は、財界、アメリカの要望を受け入れ、「世界で一番企業が活動しやすい国」をめざして、雇用破壊とも言える労働法制改悪をはじめあらゆる分野での規制緩和を押しすすめています。さらに、集団的自衛権行使の容認を国民の声を無視する形で強行決定し、「戦争ができる国」への道を突き進む姿勢は、日本の平和と民主主義を危うくするものです。こうした動きに対し、今こそ国民・労働者が立ち上がり、暴走政治にストップをかけ、平和と民主主義のもとで、幸せに暮らせる国にするためにたたかう情勢となっています。

しかし、集団的自衛権行使の容認反対、原発再稼働反対をはじめとした国民の声や行動は、いまを変える歴史的な変化を生む可能性をもつものです。国民が大切にされる「次の時代」を手にする力は、国民・労働者の声です。同様に、健全な損保産業の明日や、働きがいのある仕事や生活も、そこに働くものの声と思ひから運動をすすめていくことで実現します。

2015年度、私たちは、激変する情勢に向き合い、損保に働くものの声と実態を主張し、企業や職場をこえて集まることができる産業別単一組織の良さをもつ全損保という労働組合をいかす努力を重ねていきます。そのためにも、「運動、組織、財政の見直し」論議の到達点をさらに具体化していきます。そのスタートに秋のたたかいを位置付け、○雇用と人間らしく働ける職場を守る、○損保産業の社会的役割を守る、○人間を大切にす労働組合として奮闘する、3本の柱でとりくみをすすめます。働くものの生活と雇用、労働条件を守り抜く決意をあらためて固め、この労働組合に結集し、秋のたたかいを意気高くとりくむことをここに決議します。

2014年9月19日
全損保第71回定期全国大会